



振興会だより

富山県立にいかわ総合支援学校

No.22

ごあいさつ

にいかわ総合支援学校
教育振興会 会長

横山 栄

若葉薫る今日この頃、北陸においては一年で最も過ごしやすい季節となつて参りました。皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。四月十日に入学された新入生の皆さんも少し学校に慣れてきたところかと思います。さて、障害者教育の難しいところは一人一人がそれぞれもつてている障害が多種多様であり、その結果、教育もそれぞれの児童・生徒に合った教育を行わなければならぬ点であると思います。本校が養護学校から総合支援学校に変わり、さらに複雑になりました。教室の広さや教職員の対応など学校側も大変ではなかつたかと思います。

障害者の皆さんに対する教育の充実のために私たち教育振興会もしっかりと共に考えていかなければならぬと思います。ノーマライゼーションという言葉は、障害者など社会的に不利益を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方だと思います。これからは可能な限り様々な人々と関わり合いながら社会活動に参加し、共に活動できるような教育環境を整備していかなければならぬと思つております。

障害児教育のあるべき姿を考えるとき様々な条件整備や意識改革を進める必要があり、課題が山積みしておりますが、皆さんと共に力を合わせて前進していくうではありませんか。

学校長の言葉

校長 米田 肇



本年度、小学部・中学部・高等部合わせて四十五名の新入生を迎えることとなりました。全校児童生徒百四十九名のにいかわ総合支援学校は、「元気よく」新年度のスタートをきることができました。

子供たちからは、新しい友達、新しい先生にも少しづつ慣れ、「樂しい」「できた」「また、やってみたい」と元気な声が聞かれます。

「明るく、仲よく、元気よく」の校訓のもと、小学部では「基本的な生活習慣を身に付け、元気に日常生活を送る」、中学部では「集団活動の中での自分の良さを知り、自立した生活を送る」、高等部では「地域社会の一員として充実した生活を送る」子供たちに育てることを目指して、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりたいと考えております。これからも、地域の皆様と連携しながら、地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進していきたいと思います。

教育振興会の皆様方には、これまで多大なる支援をいただきしておりますが、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

今、できること

PTA会長 杉原由加



息子が、にいかわ総合支援学校に入学をして、早いもので十一年目の春を迎えることになりました。今年度、PTA会長という大役を務めさせていただきましたが、実際のところ今までPTA活動にはあまり参加せず、他人事のように過ごしてきました。今はただ、活動内容が多いことの驚きと、自分に務めることができるのかと不安で一杯です。学校の先生方、役員の皆様方、地域の皆様方、保護者の皆様方のご理解、ご協力、ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

子供たちは、一人一人異なる障害を抱えています。校訓の「明るく、仲よく、元気よく」のように日々いろいろな活動を通じて、一生懸命に過ごしております。子供たちのために、今何ができるのか、また、未来に向けて何を残せるのか、PTAでできることを学校や地域の方、保護者の皆さんと共に考え、より良い環境を整えていきました。子供たちの将来に向けて、卒業後も安心して、社会に送り出せる手助けができればと願っています。

「必要なちから」

進路指導部主任 原田 英樹

就業体験の事前学習として、社会で働くためにはどんな力が必要なのか、今までの就業体験先の担当者から伺い、その中で「5Sの徹底」と「当たり前のことができる」について学習しました。

「5Sの徹底」とは、五つの言葉の頭文字で、整理（必要なものは保管し、不要なものを破棄する）、整頓（作業器具や材料を必要なときにすぐに取り出せるようにしておく）、清掃（職場、工場、その周辺をいつもきれいに掃除をする）、清潔（常に設備を清潔に保つ）、習慣付け（決められたことを常に守つて実行する習慣を付ける）を表します。

もうひとつの「当たり前のことができる」は身だしなみや挨拶のことです。特に挨拶は、誰もが平等に得られるチャンス。「覇気」や「活気」を生む最初のきっかけは日頃の挨拶でしかないそうです。いずれも簡単なことに感じますが、今までの自分のことを客観的に見つめ、理解することで足りない力を気付き、明確な目標を決め就業体験に望みました。



「災害にそなえて」

保健部主任 土井 峰子

本校では地震や津波等の災害に備えて、年に二回、避難訓練を実施しています。平成二十八年度教育振興会より、全校児童生徒分のヘルメットを購入していただき、十一月二日に実施された二回目の訓練では、実際にヘルメットを着用して避難訓練を行いました。

このたび、津波用屋外避難階段が設置されました。設置場所はブルー棟横で、今までより早く避難するための階段です。津波が発生した場合、この避難階段を使ってブルー棟の屋上に上がり、そこから屋上を伝つて高等部棟二階に避難します。そのため、屋上を安全に歩くための手すりや高等部棟一階に入るための入口も併せて設けられます。

完成後は、保護者の方々や地域の方々に参加いただいた避難訓練を実施したいと考えていますので、ご協力を賜りたくお願いいたします。



平成29年度 主な行事予定

4月28日(金)	学習参観・教育振興会・PTA総会
5月20日(土)	運動会
6月6日(火)・7日(水)	学校公開DAY
6月12日(月)~23日(金)	校内実習・就業体験
6月20日(火)	学校見学会(高等部)
6月21日(水)	学校見学会(中学部)
6月22日(木)	学校見学会(小学部)
6月27日(火)~28日(水)	共同宿泊学習(小学部5・6年)
7月6日(木)~7日(金)	共同宿泊学習(高等部1・2年)
7月12日(水)~13日(木)	共同宿泊学習(中学部1・2年)
9月13日(水)~14日(木)	修学旅行(中学部3年)
9月27日(水)~29日(金)	修学旅行(高等部3年)
10月14日(土)	学習発表会
11月9日(木)~30日(木)	校内実習・就業体験
11月16日(木)・17日(金)	学校公開DAY
2月17日(土)	学習参観
3月	卒業証書授与式

入善高校農業科との交流

高等部

七月四日(月)入善高校農業科の二年生二十九名が本校を訪れ、交流を行いました。産業基礎実習班、窯業実習班、木工実習班、生活基礎実習班、染色・手芸実習班、縫製・手芸実習班を見学後、各班に分かれて一緒に作業をしました。

また、七月十二日(火)には、本校から十七名の生徒が、入善高校に行つてきました。

水の小径でマリーゴールドの摘花作業をしたり、上田農場で枝豆の実を取つて袋詰めをしたりしました。「こうするといいよ」とやり方を教え合つたり、同じ高校生として興味のあることを語り合つたり、和やかに交流する様子がみられました。



「必要なちから」

進路指導部主任 原田 英樹

就業体験の事前学習として、社会で働くためにはどんな力が必要なのか、今までの就業体験先の担当者から伺い、その中で「5Sの徹底」と「当たり前のことができる」について学習しました。

「5Sの徹底」とは、五つの言葉の頭文字で、整理（必要なものは保管し、不要なものを破棄する）、整頓（作業器具や材料を必要なときにすぐに取り出せるようにしておく）、清掃（職場、工場、その周辺をいつもきれいに掃除をする）、清潔（常に設備を清潔に保つ）、習慣付け（決められたことを常に守つて実行する習慣を付ける）を表します。

もうひとつ、「当たり前のことができる」は身だしなみや挨拶のことです。特に挨拶は、誰もが平等に得られるチャンス。「覇気」や「活気」を生む最初のきっかけは日頃の挨拶でしかないそうです。

いずれも簡単なことに感じますが、今までの自分のことを客観的に見つめ、理解することで足りない力に気付き、明確な目標を決め就業体験に望みました。

現在では、少しずつではありますが成果が出てきています。今後も自己理解を高め、社会参加に必要な力を養い支援していきます。



「災害にそなえて」

保健部主任 土井 峰子

本校では地震や津波等の災害に備えて、年に二回、避難訓練を実施しています。平成二十八年度教育振

興会より、全校児童生徒分のヘルメットを購入していただき、十一月二日に実施された二回目の訓練では、実際にヘルメットを着用して避難訓練を行いました。事前学習でヘルメットをかぶる練習をしたことで、訓練ではヘルメットをかぶり、落ち着いて避難場所まで避難することができましたが、短い時間にヘルメットがうまくかぶれなかつたり、途中でごひもがずれて脱げくなつたりと、課題もみつかりました。落下物や衝突から児童生徒の安全を守るために、ヘルメットに慣れ、いざというときにすばやく確実に着用できるよう、日々頃から機会をとらえて練習を重ねていきたいと思います。



「津波用屋外避難階段の設置について」

事務部

このたび、津波用屋外避難階段が設置されることが決まりました。設置場所はブール棟横で、今までより早く避難するための階段です。

津波が発生した場合、この避難階段を使ってブル棟の屋上に上がり、そこから屋上を伝って高等部棟二階に避難します。そのため、屋上を安全に歩くための手すりや高等部棟二階に入るための入口も併せて設けられます。

完成後は、保護者の方々や地域の方々に参加いただき、避難訓練を実施したいと考えていますので、ご協力を賜りたくお願ひいたします。



平成29年度 主な行事予定

4月28日(金)	学習参観・教育振興会総会・PTA総会
5月20日(土)	運動会
6月6日(火)・7日(水)	学校公開DAY
6月12日(月)~23日(金)	校内実習・就業体験
6月20日(火)	学校見学会(高等部)
6月21日(水)	学校見学会(中学部)
6月22日(木)	学校見学会(小学部)
6月27日(火)~28日(水)	共同宿泊学習(小学部5・6年)
7月6日(木)~7日(金)	共同宿泊学習(高等部1・2年)
7月12日(水)~13日(木)	共同宿泊学習(中学部1・2年)
9月13日(水)~14日(木)	修学旅行(中学部3年)
9月27日(水)~29日(金)	修学旅行(高等部3年)
10月14日(土)	学習発表会
11月9日(木)~30日(木)	校内実習・就業体験
11月16日(木)・17日(金)	学校公開DAY
2月17日(土)	学習参観
3月	卒業証書授与式

入善高校農業科との交流

高等部

七月四日(月)入善高校農業科の二年生二十九名が本校を訪れ、交流を行いました。産業基礎実習班、窯業実習班、木工実習班、生活基礎実習班、染色・手芸実習班、縫製・手芸実習班を見学後、各班に分かれ一緒に作業をしました。

また、七月十二日(火)には、本校から十七名の生徒が、入善高校に行つてきました。

水の小径でマリー・ゴーランドの摘花作業をしたり、上田農場で枝豆の実を取つて袋詰めをしたりしました。「こうするといいよ」とやり方を教え合つたり、同じ高校生として興味のあることを語り合つたり、和やかに交流する様子がみられました。





振興会だより

富山県立にいかわ総合支援学校

No.22

ノルアニア

にいかわ総合支援学校
教育振興会 会長

横山栄



校長
米田
肇

本年度、小学部・中学部・高等部合わせて四十五名の新入生を迎えた。全校児童生徒百四十九名のにいかわ総合支援学校は、元気よく新年度のスタートをきることができました。

A black and white portrait of a middle-aged man with short hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

若葉薫る今日この頃、北陸においては一年でも過ごしやすい季節となつて参りました。皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。四月十日に入学された新入生の皆さんも少し学校に慣れてきたところかと思います。さて、障害者教育の難しいところは一人一人がそれぞれもつている障害が多種多様であり、その

い」「できた」「また、やつてみたい」と元気な声が聞かれます。
『明るく 仲よく 元気よく』の校訓のもと、小学部では「基本的な生活習慣を身に付け、元気に日常生活を送る」、中学部では「集団活動の中で自分の良さを知り、自立した生活を送る」、高等部では「地域社会の一員として充実した生活を送る」子供たちに育てる事を目指して、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいりたいと考えております。
これからも、地域の皆様と連携しながら、地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進していくたいと思います。

教育振興会の皆様方には、これまで多く支援をいただいておりますが、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

結果、教育もそれぞれの児童・生徒に合った教育を行わなければならない点であると思います。本校が養護学校から総合支援学校に変わり、さらに複雑になりました。教室の広さや教職員の対応など学校側も大変ではなかつたかと思います。

今、
でもある」と

PTA会長
杉原由加



という言葉は、障害者など社会的に不利益を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方だと思います。これからは可能な限り様々な人々と関わり合いながら社会活動に参与し、と共に活動できるような教育環境を整備していかなければならないと思つております。

障害児教育のあるべき姿を考えるとき様々な条件整備や意識改革を進める必要があり、課題が山積みしておりますが、皆さんと共に力を合わせて前進していくこうではありませんか。

息子が、にいかわ総合支援学校に入学をして、早いもので十一年目の春を迎えることになりました。今年度 P T A 会長という大役を務めさせていただくことになりましたが、実際のところ今まで P T A 活動にはあまり参加せず、他人事のように過ごしてきました。今はただ、活動内容が多いことの驚きと、自分に務める事ができるのかと不安で一杯です。学校の先生方、役員の皆様方、地域の皆様方、保護者の皆様方のご理解、ご協力、ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

子供たちは、一人一人異なる障害を抱えています。校訓の「明るく、仲よく、元気よく」のように日々いろいろな活動を通じて、一生懸命に過ごしております、どの子も純粋で輝いています。

子供たちのために、今何ができるのか、また、未来に向けて何を残せるのか、P T A でできることを学校や地域の方、保護者の皆さんと共に考え、より良い環境を整えていきます。

子供たちの将来に向けて、卒業後も安心して、社会に送り出せる手助けができればと願っています。

学校長の言葉